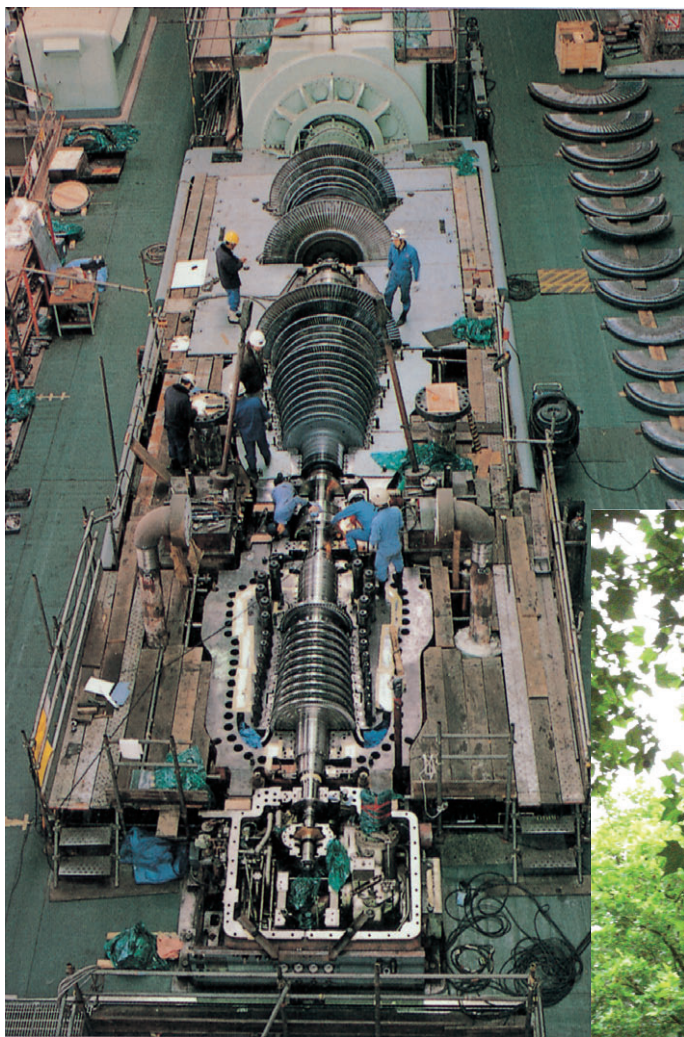


テクノロジーから アートまで

数千年の歴史を持つ伝統工芸から、最新のハイテク産業までが、
鑄造工学のカバーする領域です。



組織と運営

- 公益社団法人日本鑄造工学会（本会）の会員には次のような種類があります。正会員、学生会員、外国会員、維持会員、名誉会員。会員総数は約3,400名です。（2013年10月時点）
 - 役員である理事及び監事は総会で選任され、その任期は2年です。理事の定員は30名で、その中に会長1名、副会長2名が含まれています。監事は現在2名です。代議員200名が会員の直接選挙により選出され、本会の運営に参画します。
 - 理事会は年に6回開催され、本会の業務執行方針を決定します。年に1回開催される通常総会では、事業計画及び収支予算、事業報告及び収支決算、役員を選任などの重要事項の決定が行われます。
 - 本会の円滑な運営のため、次の委員会と国際関係委員会、財務委員会、長期ビジョン委員会を常置しています。
- 1.企画委員会
各種事業、国際交流、渉外、学会活動全般に関する企画、実施。
 - 2.編集委員会
会誌「鑄造工学」の編集、全国講演大会の講演に関すること。工学会で発刊する図書の計画立案。論文賞、網谷賞候補論文の推薦。全国講演大会における学生優秀講演賞の選出。英文誌“Materials Transactions”への投稿促進・支援。

- 3.研究委員会
鑄造工学に関する学問・技術の調査研究及び普及。下部組織として研究部会があり、会誌へのレビュー記事掲載、研究報告書の発行、シンポジウムの開催等、活発な活動を展開。
 - 4.人材育成委員会
鑄造現場の中核人材育成事業に取り組む。「鑄造カレッジ」、及び「鑄造カレッジ上級コース」の立上げ。
 - 5.行事企画委員会
会員の活性化を目的に、各種セミナーや講座等の行事を企画・立案し運営する。
 - 6.YFE委員会
若手会員（Young Foundry Engineer : YFE）の学会活動を支援し、その育成を図るために、各種事業を企画・立案し実施する。
 - 7.広報委員会
会員、非会員への広報活動によるサービス向上、活動の啓蒙、普及のための企画及び実施。情報ネットワークの構築やWEB化の推進。
- 全国に8支部（北海道、東北、関東、北陸、東海、関西、中国・四国、九州）が設けられ、それぞれの支部が地域に密着した活動を展開しています。